

○夏季から秋季の天気（3ヶ月予報等）

平成29年7月26日現在

今年のこれまでの傾向としては、昨年と比較して平均気温は、低く推移しており、ほぼ平年並みになっています。1月からの平均気温の変化は、宮崎市で3月-1.3℃、4月+1.2℃と変動が見られましたが、6月までの平均気温は、平年値+0.12℃となっています。

7月に入り、気温が高くなって来ましたが、7月25日現在猛暑日は5日間と最高気温は平年並みで、最低気温が高い（熱帯夜15日間）傾向となっています。

7月25日に九州南部の3ヶ月長期予報が発表されましたので、解説するとともに、1ヶ月予報、台風情報も付け加えます。

1 3ヶ月予報（九州南部地方）7月25日発表

(1) 気温

3ヶ月平均	10	30	60
8月	20	30	50
9月	20	30	50
10月	20	40	40

(2) 降水量

3ヶ月平均	40	40	20
8月	40	40	20
9月	40	40	20
10月	40	40	20

*表の見方は、農業試験場のHP「農業気象情報⑩」でしています。

2 3ヶ月予報の解説

(1) 気温は3ヶ月平均では平年よりかなり高い予想です。月ごとには8月、9月が高い傾向、10月はやや高い傾向になります。

また、8月上旬は太平洋高気圧の勢力が弱いため、気温は平年並みで、曇りがちの日が多いと思われます。

(2) 降水量は3ヶ月平均では平年並みかやや少ない予想です。月別でも同じ予想になっています。

これは、太平洋高気圧に覆われる期間が多く、天気が安定していることから降水量は、やや少ないと予想されています。

全国的にこのような傾向となっていますので、高温で少雨傾向と予想したいところですが、7月下旬に太平洋高気圧の勢力が弱まっているた

ため、北からの寒気の影響を受けやすく、また、日本の南海上にある台風の影響により、3ヶ月予報とは、少し天気傾向が変わってくる可能性があります。

3 1ヶ月長期予報（7月20日発表）

7月22日から1週間は特に高いと予想されています。それ以降もやや高いか高いと予想されています。降水量は平年並みかやや多く、日照時間は平年並みかやや少ないと予想されています。3ヶ月予報の補正が入っているようです。

4 台風情報（今年の傾向）

昨年は第1号がかなり遅く、7月8日に発生し、その後次々に発生し、北日本に大きな被害を与えました。今年は7月下旬になり、5号から9号まで連続して発生しています。

日本には、5号と9号（まだ熱低）が影響を与えそうです。複雑な動きをすると予想されますので、注意してください。

5 今後の見通し

8月の初旬は、太平洋高気圧の勢力が弱く、代わりに北の寒気や台風の影響が出てくるため、高温多湿傾向になるのではないかと予想します。

また、最高気温は、猛暑日が少なく平年並みで、最低気温は25度を超える熱帯夜が多くなり、湿度も高いと予想します。台風については、

5号が複雑な動きをする中で、9号が北上して来ますので、8月初めは台風の動きから目が離せない状況になってきます。

総合農業試験場企画情報室 村岡精二（気象予報士）